

報恩会 10月9日(土)

午後1時より ※午後からの法要のためお食事をすませてからお越しください

～開山忌、御先祖様への感謝報恩のお勤めを致しましょう～

●塔婆先祖供養 ~御塔婆に家名を記入し御供養を致します。供養料3,000円～

●御志納供養 ~御施主名を本堂に掲示し、読上げのご供養を致します。供養料おこころざし～

お申し込みは月参りの際、もしくは御郵送の場合は、お申し込み用紙を返信用封筒にて御郵送頂き、ご供養料は郵便局の振込用紙をお使い下さい。

●開拓殉難者供養 ~北海道の開拓の礎となられた殉難者のご供養です～
12時00分より

新型コロナウイルス感染症への対策を十分に行っております。お客様におかれましても感染防止策へのご理解とご協力をお願い申し上げます。
・ご自身の健康状態を確認してご来場ください。エントランスに消毒液を設置いたします。手指の消毒をお願い申し上げます。
・ご来場の際はマスクを着用してください。
・咳エチケットを遂行していただきますようお願い申し上げます。

道しるべ

宮の森 大乗院

秋号

大乗院寺報 令和3年9月
〒064-0958
札幌市中央区宮の森1263-3
電話(011)641-8904
FAX(011)631-0004
E-mail yakuou@triton.ocn.ne.jp
第85号

宮の森の朝夕は、涼しくなり山々も色づきはじめられています。皆様いかがお過ごしでしょうか。いつもお寺の事を心にかけて頂き有難う御座います。北海道日本ハムファイターズで活躍し、愛された大谷翔平選手が、米大リーグ・エンゼルスで大活躍しています。誰もが彼の「一挙手一投足に、胸を躍らせ、応援し、夢を膨らませ、楽しく励みになる日々ですね。今の世の中では、朗報は救いと言っても良いかもしれません。無理もない。三年越しのコロナ禍に、社会・経済活動は青息吐息が続く。旅行も外出も儘ならない。職場や家庭から活気が薄れ、暗い雰囲気すら漂う。悪いのは、夢や希望、明るい展望が開けないことだ。世界中が「もう、やつられない」という環境の中でも、最高峰の舞台で歴史的記録を重ねる大谷選手に誰もが夢を託している。記録だけではなく、彼の明るい笑顔と人柄が、世界中の人々を魅了しているのでしょうか。東京オリンピック、パラリンピックの日本選手活躍もまた、大谷選手同様、日本中を魅了しました。特に、選手達の多くの人々への感謝と感動の言葉が、コロナ禍の環境をしばし忘れさせてくれました。夢や希望、感謝や感動、明るく元気な振舞いが、周囲の人々を和ませ、明るくし、時に勇気を与えてくれると思います。逆に、憎

大谷選手のように
住職 田中清元



しみ、嫉妬、不満などの気持ちは周囲を劣化させてしまいます。仏道の教えに、「大慈大悲」の智慧があります。仏様の説かれる「抜苦与楽」は、この世の全ての生き物の苦しみを救い、全てに楽を与えるという意味で、苦しみから楽に導くことと論じています。勿論、私たちは、簡単にはお釈迦様や大谷選手にはなれません。しかし、職場や家庭で、各々のチョットした頭の切り替えで、雰囲気ガラリと変わります。暗い環境の中、誰もが一段と明るいヒーローを求めているだけに、人生を豊かにする最高の機会となるのではないのでしょうか。つい口に出る根暗な言葉をやめて、「大丈夫だ」「心配するな」「上手くいく」「ありがとう」と、前向きな言葉を沢山声に出し、これに、笑顔と積極的な行動があれば、「鬼に金棒、仏に花」です。私たちの僅かな意識の転換があれば・・・そう、あなたも大谷選手のような人になれるのです。感染数が減っているとはいえ、未だコロナ禍の終息が見えない中、まだまだ不安や怯えは続いています。ワクチン接種が進み明るい兆しも見えてつあります。明るく笑顔で生きましよう。心穏やかに前を向いて、誠実さと謙虚さを感じるゆとりも大切ですね。皆さまのご健康を心からお祈りいたします。 合掌



報恩開山忌

10月9日(土) 13時00分

古きを慕い「今」を生きる

「まごころをこめておもてなしをする」ことにより、ほとけさま、御先祖様への報恩の気持ちであらわすのが法事の柱です。ほとけさまや御先祖様がまさに今そこにおいてになると考えて心からおもてなしをする法要です。両祖様、御先祖様への感謝報恩のお勤めを致しましょう。

●塔婆先祖供養
御塔婆に家名を記入し御供養を致します。供養料三千元

●御志納供養
御施主名を本堂に掲示し、読上げのご供養を致します。供養料おこころざし。

(お申し込みは月参りの際、もしくは御郵送の場合は、お申し込み用紙を返信用封筒にて御郵送頂き、ご供養料は郵便局の振込用紙をお使い下さい。)

落語をお楽しみください

新型コロナウイルスの影響で落語に触れる機会が少なくなっている中ですが、薬王寺としても活動を支援、応援して行きたいと思ひます。

古今亭志ん爾

1950年(昭和25年)8月6日 日暮里生まれ。1974年(昭和49年)古今亭園菊に弟子入り古今亭菊爾の名前をもらい前座修行が始まる。1988年(昭和63年)真打昇進、古今亭志ん爾を名乗る。高校生時代は浦和南高校でサッカー選手権大会等出場。その後拓殖大学に入学。二つ目の頃に「住吉踊りの会」入り今は座長を務める。豪華客船(飛鳥)の専属落語家として毎年乗船。東京探訪、平成歌謡塾などメインキャストキャスターとして出演。現在は落語に専念。



三遊亭金八

1940年(昭和15年)8月5日 北海道根室市出身。平成2年4月三遊亭金馬に入門。滑稽噺「饅頭こわい」「弥次郎」「四人癖」「権助魚」「強情炎」「猫の災難」。地噺(アドリア)を活かして「たがや」「源平盛衰記」「芝居のけんか」。芝居鳴物噺「七段目」「さんま芝居」「猫の忠信」「掛取万歳」。色街・廓物「文違い」「坊主の遊び」「お見立て」。他「佃祭」「時そば」「らくだ」「五目講釈」「茶金」など約二百席前後のレパートリーを持つ。また、北海道根室市出身で北方領土元島民二世(父が歯舞群島志発島・相泊)ということから「北方領土寄席」としてそこを題材にした「北方領土落語」や「北方領土南京玉すだれ」など社会的なものもネタとして取り入れ活動している。



賢人の言葉
心を通わす
松下幸之助さんの道をはひらくより
古人曰く、人生はあざなえる縄の如し。
長い人の歩みには、良いこともあれば、わるいこともある。うれしいことも、悲しいことも。良いと思つたところが、悪かったり、その反対も。
はじめから素直に謙虚に歩んでおければそれで良かった。
ご住職の日々の教えもこの繰り返し。今年の新盆供養のご挨拶で檀家総代長の東原さんから、今を生きていると言うお言葉も心に残っています。
良いときも、悪いときも、いかなる時にも素直に謙虚に、おたがい心を通わして、頑張つていきたい。
コロナ禍を乗り越えるには、この精神が大切と感じています。

院代 橋坂慎龍 合掌

年内の法要

●9月23日 秋彼岸法要 13時30分より

お彼岸の中日に御先祖様への感謝報恩のお勤めを致します。

●10月9日 報恩開山忌 13時00分より

両祖様、御先祖様への感謝報恩のお勤めを致しましょう。

●12月8日 釈尊成道会

お釈迦様がお悟りを開かれた日を記念した法要です。新本堂にて午後よりお勤め致します。

●12月31日 除夜法会～修正会

大晦日の午後11時45分より、世界一の大きな大鑿を撞いてお勤め致します。行く年に感謝を捧げ、新たな年の無事を祈りましょう。年越しそばや甘酒、年始の施しものや開運グッズもありますよ。新たな年の始まりはお寺で迎えましょう!



活動のご案内
薬王寺では地域に根ざしたお寺を目指すため、様々な活動を行っております。皆さまのご参加、お待ちしております。

子ども空手教室
心と体を鍛えましょう
毎週月・木・土曜日
午後5時より お寺
2年連続全道大会優勝。共に心と体を鍛え「自自力」を磨きましょう!初心者大歓迎です。いつでも見学に来てください。

坐禅会
体と心を調えましょう!
毎月1日・15日
午前7時より 参加無料
忙しい毎日の中、静かな時間を過ごしませんか?坐禅は身と息を調え、心を調えます。初めてでも大丈夫!座りやすい服装でおいでください。

ご詠歌
仲良く楽しく唱えましょう
毎週金曜日
午後1時より 会費あり
ご詠歌を聞かれた事はありますか?亡き人への追憶の思いに涙があふれてきます。歌の得手不得手は関係ありません。一緒にお唱えしましょう。

8月 お詣り予定 お盆供養

(月参りはお休みです)

1日～12日

午前7時から午後6時まで
お盆のお詣りに伺います

◇御先祖様をお迎えする為の、大切なお勤めです。地区の担当者が予定日を決めて、ご自宅にお伺いします。ご御協力お願い致します。

日時のご案内は発送済みです
届いていない方はご連絡下さい

【お盆まいりのお願いです】

- 住所変更や日時の御変更、お休みの時は、お手数ですが、お早目にお知らせ下さい。
- ハガキに午前・午後と、時間帯に○印が付いています。おおよその目安で前後することもございます。恐れ入りますが、お時間には余裕を持ってお待ち下さい。
- この期間中は、お寺に僧侶が不在がちです。ので御了承下さい。
- お伺いの際に水向供養塔婆(水塔婆)をお持ち致します。口の広めのコップに、水を半分ほど入れ御用意下さい。水塔婆は十六日まで、毎朝水を取り替えること丁寧ですね。



※十六日が終わりましたら水から出し、乾燥させて、二十日の法要に御持参頂くか、半紙等にくるみ、来年のお盆か、次の御命日の時に、お渡し下さい。

東原俊郎 檀家総代長からのご挨拶



お盆をひかえ、皆様におかれましては、この災禍の中、ご苦労されておられることと案じております。一昨年より計らずも総代長を勤めさせていただき、皆様とともに薬王寺がより良い心の拠り所となるようお手伝いをさせていただいております。ご承知の通り、コロナウイルスの影響は予想をはるかに超え、不安な毎日をお過ごしのことと思っております。今まで当たり前だったことが、そうでなくなる日々。私は、これを危機ととらえるのではなく、チャンスととらえて日々事業に取り組んでいます。その中で、今を生きることの大切さも感じています。昨年七月十七日に母が満百歳の人生を全うし遙かな旅路にきました。生前に宮の森薬王寺にお詣りして大変よろこんでいた姿を思い出します。母から生き方を学び、誠実に歩んだ人生は、「生き抜く」そのものでした。ご住職やお寺の皆様のおかげで、七月十七日に、一周忌の法要を滞りなく済ませる事ができました。こと心よりお礼申し上げます。このような状況ではあります。微力ながらお寺の発展のため尽力させていただきます。皆様からのご支援ご協力をお願い申し上げます。檀信徒の皆様のご健康とご多幸、心から御祈願申し上げます。

13日～16日

お墓参りの期間です
※お寺の開門は
午前7時から午後7時まで

◇お墓に御先祖様のお参りに行きます。お寺では朝七時より夜七時まで開門してまします。お経のお申し込みは受付順です。お供物は、皆様でお召し上がり頂く事も御供養です。出来るだけお持ち帰り下さい。

《駐車場のご案内》
新本堂の駐車場も使用できます。また境内での事故や盗難に関しては責任を負いかねますので充分ご注意ください。

15日 新盆供養
午後4時30分より

今年新盆の方は、令和二年六月二十六日～令和三年六月二十五日迄の仏様です。

◇今年初めてお盆を迎えられる精霊様だけの御供養です。想いを込めて灯火を供え、お塔婆を建立して供養の誠を捧げましょう。午後三時半頃までお越し下さい。(法要中は本堂納骨堂でのお参りを御遠慮して頂く事があります。)

御先祖供養、回忌供養の方は二十日の法要へお越し下さい

16日 お供物のお下げ 午後より

◇境内のお墓や納骨堂のお供えを下げる日です。御檀家さんや婦人会の皆さんにお手伝い頂き、お掃除をします。ご協力頂ける方は、お昼頃までお越し下さい。

当日お参りの方は、御供物のお持ち帰りを協力下さい

20日 お盆大法要 午前11時より

◇お盆総供養の大塔婆供養を致します。本年回忌を迎える方にはご案内を同封させて頂いております。お塔婆供養は回忌にあたる方だけではなく御先祖様への供養もしております。

当日ご参詣にならない場合は、お寺が代わってご供養致します。当日のお申込みも可能ですが、なるべく午前中までにお申込みをお願い致します。◇当日はお焚き上げ供養も行ないます。古い御守りや水塔婆などお持ち下さい。ただし生ものや不燃物は受付出来ません。

20日 からの お参りは

◇お寺は二十日以降、お盆の片付けに入りますが、祥月命日(本命日)や中陰(四十九日中のお詣り)、ご法事のお勤めにありますので、お時間の予定など遠慮なく御相談下さい。

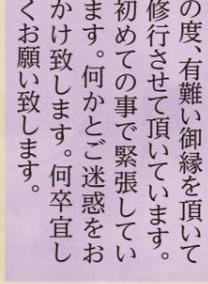
《護持会費について》年間一万円

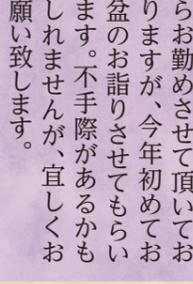
檀信徒皆様が気持ち良く御参り頂けるように、お寺や境内地を管理・整備させて頂く為の大切な会費です。境内の「お墓や納骨堂の有無に関わらず」月命日、本命日やお盆、ご法事等に伺っている場合には、必ずお納め頂く会費です、どうかご理解ご協力の程、宜しくお申し込み申し上げます。

◆お盆のお参りに伺いたします

夏らしい日が続いております。お参りに伺うと皆様から、お茶を出していただいたり、いろいろなお話し伺ったり、故人様、仏様が作ってくださった仏縁に感謝してあります。今年もご自宅等へのお盆のお参りをさせていただきます。

 住職 田中清元	 院代 橋坂慎龍
 副住職 田中基裕	 鶴間隆道

 森川敬道	 井崎信海
--	---

 井崎信海	 井崎信海
---	--



【お塔婆ご志納のお申込み】
お詣りに伺った際には、新盆(十五日)、お盆法要(二十日)の「お塔婆供養」と「ご志納」のお申込をお受け致します。同封の「申込書」に必要事項をご記入頂き、供養料と一緒に御渡し下さい。併せて護持会費のご納金もお受け致します。

回忌案内が届きの場合は、申込み書に添えてお渡し下さい。

御郵送 での御申込みもできます

お盆のお詣りに伺わない方は同封の申込用紙に必要事項をご記入の上、茶色の返信用封筒(切手不要)にて御返送下さい。ご供養料は同封の郵便局の振込用紙にてご納金下さい。※年忌に当たらない仏様のご供養もできます。

- ご塔婆はお地藏様を囲み一年間建立しご供養致します
- 大塔婆供養・一万円 (戒名法名が家名)
- 中塔婆供養・五千元 (家名のみ)
- 万燈供養・五千元 (提灯供養、家名のみ)



年忌にあたらぬ仏様のご供養もできます。

◆大塔婆供養 だいとうば

今年法事を迎えられる方、御年忌に当たらずとも御先祖様への御供養のために感謝報恩のお勤めをおすすめ致します。御供養されたお塔婆は境内地に来年夏まで建立安置させて頂きます。

また、やむなくコロナ禍の中、ご法事や棚経、お墓参りを見合わせた方には特にお塔婆の建立をお勧めいたします。

※当日お越しにならない方は、お寺で代わりにお勤め致しますので、ご安心ください。

◆お塔婆の意味と目的

お塔婆とは、もともと仏塔という意味の「ストウパ」が語源とされ、お釈迦様のご遺骨を納められた五輪塔がその由来です。五輪塔の5つの形の意味は、上から宝珠型「空」、半円「風」、三角「火」、円「水」、四角「地」となり、宇宙を構成する5つの要素を表し、仏教では人間もこの5つの要素によって生かされていると教えられています。

塔婆を建立することは最も善行とされており、それは故人やご先祖様の善行ともなり、追善供養を行うということになります。

泰光正栄さん



1986年11月27日 35歳
山總持寺特別僧堂修行中。
ブラジルのリオデジャネイロ出身。国立ヴィライーローボス(Villa Lobos)芸術哲学大学院で研鑽。卒業後、東洋哲学の教授として活動し、2006年に禅仏教に入門し、2011年に曹洞宗僧侶として得度。大本山總持寺で修行。2019年より当本山で特別僧として安居修行中。



廣澤一徳さん
利尻大法寺住職
薬王寺にて役8年間 役僧として随身しその後利尻に戻り住職となる。毎年お盆のお手伝いに来てくれています。



小林圭太さん
松雲寺
瑞応寺にて3年半修行後知殿という配役の役寮。慎龍土師の修行時代の後輩にあたる。そのご縁あってこの度はお盆のお手伝いをお願いする事になりました。

福島和哉さん



1985年7月21日 36歳
大分県出身
竜華寺 副住職
駒澤大学にて修学。